

令和4年度 原宿地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化の進行に加え、家族介護力の脆弱化、かかわりの希薄化も進み、特に認知症により理解力・判断力が低下した利用者やその家族への対応については、個々のケースに対し臨機応変に行っていくことが求められている。そのような中で、地域住民一人ひとりによりよい関係づくりを行い、自助・共助の実現を共に目指していく。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、地域活動が左右されることが予測される為、今年度もICT等を活用することにより「新たな交流の場」の創出、新しい生活様式に合わせた地域づくりを、町内会・自治会、各種団体と連携を行い支援していく事が求められている。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○介護支援専門員への情報発信や町内会・自治会、民生委員などの会合の場に参加し、活動報告を行い制度の理解等に努める。また、区役所や区社協等と連携しサービスBの周知を行っていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域に出向き出前講座(認知症について、介護保険利用について等)を企画し、地域に安心感を持って暮らせるよう、地域ケアプラザを身近に感じて頂く。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○区役所関連事業(介護予防事業や子育て連絡会等、)町内会単位で行われている活動から、ケアプラザ圏域で行われる活動(催し)を含め、より多くの地域住民(連合未加入も含む)に第4期とつかハートプランを知っていただけるように、周知活動を行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○居宅介護支援事業所連絡会・生活支援交流会を開催し、ケアマネジャーと地域のインフォーマルサービス組織や関係者等が顔合わせ・情報交換等が出来る場を確保する。開催時期について変更する。各種連絡会に参加しにくい環境にある小規模事業所(1人ケアマネ)に適切な情報提供を行う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度原宿地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>①居宅介護支援事業所にケアプラン作成を依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際に、特定の事業所に偏らないようにする。</p> <p>②自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努める。</p>	<p>倫理・サービス、事故防止や個人情報保護について研修を実施する。</p> <p>ヒヤリハットや事故が起きた際には、記録にとどめ、当日のうちに事故原因を検証し、具体的な予防策をたてて、再発防止に努める。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>利用者の心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割を持って生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントを行っていく。</p>	<p>コロナ禍において、要介護の方や介護されているご家族様の負担軽減となるよう支援を行い、地域のニーズに対応できる体制づくりと災害や感染拡大に備え、事業の継続と安定した経営・運営ができるように準備と訓練を行っていきます。</p>
利用料金・実費負担	<p>利用者の負担はなし。</p>	<p>利用者の負担はなし。</p>
職員体制	<p>地域包括支援センター三職種4名 介護予防支援事業所担当職員1名</p>	<p>居宅介護支援事業所管理者1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員1名(常勤専従) 介護支援専門員3名(うち常勤兼務1名、常勤専従2名)</p>
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	コロナ禍において、感染症拡大予防対策を実施し、業務継続ができるように運営に努めます。その中で、ご利用者が住み慣れた地域、在宅において安心して、安全に暮らすことができるよう支援していきます。	個々のご利用者へ充実したプログラム提供を行えるよう努めます。職員の認知症に対する理解を深め、心身機能を安定させ、快適に過ごして頂けるように支援していきます。	
実施体制	【実施日数】 月・火・水・木・金・土(12/29～1/3除く) 【提供時間】 9時25分～16時25分 【定員】 35名	【実施日数】 月・金(12/29～1/3除く) 【提供時間】 9時25分～16時25分 【定員】 8名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	【通所介護】 ・1割負担分 (要介護1)671円(要介護2)794円(要介護3)919円 (要介護4)1,046円 (要介護5)1,171円 ・食費負担 800円 ・入浴加算(I)43円/回 ・サービス提供体制強化加算(I) 24円/回 ・同一建物居住者の送迎についての減算 △101円/日 ・送迎減算(片道) △51円 ・中重度者ケア体制加算 49円/回 ・認知症加算 65円/回 ・科学的介護推進体制加算 43円/月 ・介護職員処遇改善加算(I) 1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数(利用者毎に異なる) ・介護職員等特定処遇改善加算(I) 1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる) 【第1号通所事業】 ・1割負担分 (要支援1)1,793円(要支援2・週1回程度)1,793円 (要支援2・週2回程度)3,675円 ・食費負担 800円 ・サービス提供体制強化加算(I) 要支援1:95円/月 要支援2(週1回程度利用):95円/月 要支援2(週2回程度利用):189円/月 ・同一建物居住者の送迎についての減算 要支援1:△403円/月 要支援2(週1回程度利用):△403円/月 要支援2(週2回程度利用):△807円/月 ・科学的介護推進体制加算 要支援1・要支援2:43円/月 ・介護職員処遇改善加算(I) 1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数(利用者毎に異なる) ・介護職員等特定処遇改善加算(I) 1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)	・1割負担分 (要介護1)1,080円 (要介護2)1,197円 (要介護3)1,315円 (要介護4)1,432円 (要介護5)1,550円 ・食費負担 800円 ・入浴加算(I) 44円/回 ・サービス提供体制強化加算(Ⅱ)20円/回 ・同一建物居住者の送迎についての減算 △103円/日 ・送迎減算(片道) △52円 ・科学的介護推進体制加算 44円/月 ・介護職員処遇改善加算(I) 1ヶ月の総単位数に10.4%を乗じた単位数(利用者毎に異なる) ・介護職員等特定処遇改善加算(I) 1ヶ月の総単位数に3.1%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)	
職員体制	通所介護事業・第1号通所事業(横浜市通所介護相当サービス)※職員は兼務 管理者1名	※職員は兼務 管理者1名 生活相談員1名以上 機能訓練指導員1名以上	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「原宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,721,321		16,721,321		16,721,321	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	4,294,365		4,294,365		4,294,365	
収入合計	21,015,686	0	21,015,686	0	21,015,686	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,182,813	0	12,182,813	0	12,182,813	
本俸	7,989,000		7,989,000		7,989,000	
社会保険料	1,199,000		1,199,000		1,199,000	
手当計	2,634,813		2,634,813		2,634,813	
健康診断費	59,000		59,000		59,000	
勤労者福祉共済掛金	151,000		151,000		151,000	
退職給付引当金繰入額	132,000		132,000		132,000	
その他	18,000		18,000		18,000	インフルエンザ予防接種代
事務費	2,092,469	0	2,092,469	0	2,092,469	
旅費	23,000		23,000		23,000	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	397,000		397,000		397,000	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	94,000		94,000		94,000	コピーカウント・年賀状印刷代
通信費	425,000		425,000		425,000	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	48,000		48,000		48,000	新聞
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	研修参加費
振込手数料	8,000		8,000		8,000	振込手数料
リース料	43,000		43,000		43,000	玄関マットレンタル代
手数料	93,000		93,000		93,000	OA銀行、労士顧問料
地域協力費	5,000		5,000		5,000	来客用お茶代
その他	953,469		953,469		953,469	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	316,426	0	316,426	0	316,426	
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	316,426		316,426		316,426	
その他			0		0	
管理費	5,949,978	0	5,949,978	0	5,949,978	
光熱水費	3,870,978		3,870,978		3,870,978	
清掃費	1,080,000		1,080,000		1,080,000	施設日常清掃業務等
機械警備費	85,000		85,000		85,000	施設警備
設備保全費	914,000	0	914,000	0	914,000	
空調衛生設備保守	161,000		161,000		161,000	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	78,000		78,000		78,000	消防設備点検
電気設備保守	98,000		98,000		98,000	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	24,000		24,000		24,000	害虫駆除
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	553,000		553,000		553,000	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理、塵芥処理
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,015,686	0	21,015,686	0	21,015,686	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業費 支出	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業 収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度「原宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,685,678		29,685,678		29,685,678	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			157,766		157,766	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	157,766		157,766		157,766	
収入合計	35,799,444	0	35,799,444	0	35,799,444	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,974,851	0	30,974,851	0	30,974,851	
本俸	17,303,000		17,303,000		17,303,000	
社会保険料	4,118,000		4,118,000		4,118,000	
手当計	8,339,851		8,339,851		8,339,851	
健康診断費	41,000		41,000		41,000	
勤労者福祉共済掛金	718,000		718,000		718,000	
退職給付引当金繰入額	429,000		429,000		429,000	
その他	26,000		26,000		26,000	インフルエンザ予防接種代
事務費	2,024,564	0	2,024,564	0	2,024,564	
旅費	70,000		70,000		70,000	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	230,000		230,000		230,000	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	109,000		109,000		109,000	コピーカウント、年賀状印刷代
通信費	469,000		469,000		469,000	電話、インターネット回線使用料、切手、DM
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	14,000		14,000		14,000	研修参加費
振込手数料	9,000		9,000		9,000	振込手数料
リース料	43,000		43,000		43,000	玄関マットレンタル代
手数料	159,000		159,000		159,000	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	1,000		1,000		1,000	来客用お茶代
その他	920,564		920,564		920,564	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	1,092,593	0	1,092,593	0	1,092,593	
協力医	630,000		630,000		630,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	258,593		258,593		258,593	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000		50,000	
その他			0		0	
管理費	1,579,436	0	1,579,436	0	1,579,436	
光熱水費	924,436		924,436		924,436	
清掃費	287,000		287,000		287,000	施設日常清掃業務等
機械警備費	23,000		23,000		23,000	施設警備
設備保全費	345,000	0	345,000	0	345,000	
空調衛生設備保守	43,000		43,000		43,000	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	21,000		21,000		21,000	消防設備点検
電気設備保守	27,000		27,000		27,000	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000		7,000	害虫駆除
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	247,000		247,000		247,000	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理、塵芥処理
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	
公租公課	2,000	0	2,000	0	2,000	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	2,000		2,000		2,000	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	35,799,444	0	35,799,444	0	35,799,444	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	10,000	0	10,000	0	10,000	
自主事業費 支出	10,000	0	10,000	0	10,000	
自主事業 収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 原宿地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

R4年4月1日～R5年3月31日

施設名:原宿地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				11,609		11,609	24,861		24,861	83,569		83,569	3,782		3,782
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,286	0	20,286	464	0	464
	事業・負担金収入			0			0			0	19,286		19,286	464		464
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,000		1,000			0
	収入合計(A)	0	0	0	11,609	0	11,609	24,861	0	24,861	103,855	0	103,855	4,246	0	4,246
支出	人件費			0			0	20,883		20,883	75,829		75,829	4,246		4,246
	事務費			0			0	1,912		1,912	10,979		10,979			0
	事業費			0			0	43		43	15,529		15,529			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	9,718	0	9,718	0	0	0	1,000	0	1,000	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	9,718		9,718			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,000		1,000			0
	支出合計(B)	0	0	0	9,718	0	9,718	22,838	0	22,838	103,337	0	103,337	4,246	0	4,246
	収支 (A) - (B)	0	0	0	1,891	0	1,891	2,023	0	2,023	518	0	518	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	大正プロジェクト	平成29年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいのある子どもたちが、障害の有無に関わらず地域の人たちと関わりながら豊かに過ごせる活動の場、交流を通して、成長を見守ってくれる地域のサポーターを増やすこと。	2:障害児・者		現在隔月地区センターのお部屋をお借りし、大正小学校個別支援級在籍の子どもたちを対象にした居場所プロジェクトとして平成29年3月からスタートする。また、高齢者施設・障害者施設の職員、ボランティアなどと協力し開催している。 年9回予定 ※コロナウイルス感染拡大の状況により実施していく		
2	たいしょう食堂(食品配布会)	平成31年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子供から高齢者が一緒に集い、食事をする場の提供により、地域の活性化(世代間交流)を目的として実施	5:地域		大正地区センターのお部屋をお借りし、大正地区の方を対象とした地域食堂食品配布会(を開催することとなった。今年度は年4回実施予定。今年度は食堂の再開にむけての支援を行っていく。 ※コロナウイルス感染拡大の状況により実施していく		
3	障がい学習会	平成30年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害のあるこどもの保護者どうしの情報交換や研修を通し、地域に必要とするサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげる。	2:障害児・者		障害のあるこどもたちがいきいきと個性を活かして地域になるにはとのことで意見交換。大正小学校の個別支援級在籍の児童を対象としてスタートしたが様々な課題が出てきているため今後検討することとなった。 年4回程度 ※コロナウイルス感染拡大の状況により実施していく		
4	子育て連絡会	平成23年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援に関わる関係機関同士のネットワークの構築、ダブルケア、虐待防止などに対応していくため、子育て分野、高齢者支援分野との連携も目的としている。	3:養育者及び乳幼児		エリア内外で活動する子育て支援関係機関、当事者サークル、高齢者施設の皆さんと地域の現状と課題について意見交換を行った。 年3回程度 今年度は地区社協との連携を進めていく予定。 ※コロナウイルス感染拡大の状況によりオンラインでの連絡会なども検討していく。		
5	おしゃべりカフェ	平成31年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケア会議などで、住民より地域の居場所が少しでも出来ればとのお声を多数頂いたため、今年度ケアプラザにてカフェをオープンすることとなった 新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。	5:地域		地域の方ならばどなたさまでも参加できるカフェ 特にイベントなどは実施しないが、今度皆さまの声を確認しながら行っていく 原則毎月1回開催 ※昨年度は、コロナウイルス感染症拡大を受け1回のみ開催。今年度も引き続き再開に向けて検討を行っていく。		
6	傾聴ボランティア養成講座	平成24年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	独居の高齢者、日中独居の方、施設入所者、高齢者サロン、介護をしているご家族の方を対象にした傾聴活動ボランティアの育成を目的とする。	5:地域		シニアライフセラー研究所の方を講師に3回の傾聴の基礎についてワークを中心に実施。戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会の川原先生を講師に認知症サポーター養成講座、既存の傾聴グループの方にも参加していただき傾聴の活動の様子などの紹介。 今年度は、複数回の講座形式ではなく、単発形式で年3回実施予定(感染状況等により、オンラインも活用していく予定)		
7	にこにこフリーマーケット	令和2年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の母親同士の交流・情報交換、居場所づくりを目的として開催。	3:養育者及び乳幼児		子育て中の親同士の交流・居場所作りを目的として開催(年2～3回を目標) 子育て支援団体等とも連携することにより、支援の輪が広がるように開催していく。 今年度も継続して実施できるよう、関係団体等とも連携し検討を行っていく。		
8	スマホ教室	令和3年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元の企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。 卒業生を対象とした、フォローアップ講座も検討中。	1:高齢者		4月～合計5回(土曜日) 時間 10時～12時:13時30分～15時30分 場所 原宿地域ケアプラザ スマホの普及が進み様々な情報を収集できるようになってきているが、うまく活用できている方も少ない。昨年度第1期生に講師補助として参加を促していく予定。		
9	スマホ教室(フォローアップ)	令和4年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元の企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。	1:高齢者		1カ月間程度 大正地区にある施設(保育園・地区センター・市民図書など)と連携し実施する予定。		
10	秋の大正地区図書スタンプラリー	令和3年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	11月の読書推進月間に合わせて、スタンプラリー形式で実施することにより、読書の推進を図る	5:地域		11月1か月間程度実施予定。 大正地区にある施設(保育園・地区センター・市民図書など)と連携し、読書活動の推進を図っていく。		
11	楽しくトレーニングしよう会	平成21年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアの保健活動推進員と共催で「はまちゃん体操」や「ハマトレ」「脳トレ」などを実施し、介護予防の普及啓発と体操とうに従事するボランティアの育成を行う。	1:高齢者		日程:4月～3月(月1回日曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:体操・脳トレ		
12	原宿コグニサイズの会	平成30年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症予防教室を地域高齢者のグループと共催で開催することで、仲間づくりや社会参加を促進し、認知症予防にもつなげる。	1:高齢者		日程:4月～3月(月1回土曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:コグニサイズ・健康体操等		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	健康講座	令和元年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症についての正しい知識や疾病予防のための知識を得てもらう目的。	1:高齢者		日程:年1回 時間:13時30分～14時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:協力医による健康講座		
14	認知症予防音楽療法	平成28年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域高齢者を対象に「認知症予防を目的とした講座を開催する。	1:高齢者		日程:年1回 時間:10時30分～11時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:音楽療法士による歌やリズム、回想法を用いた認知症予防講座		
15	GOGO体操	令和2年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防講座のOB会として立ち上がった介護予防活動グループ。会との共催により安定的な開催ができるようにする。	1:高齢者		日程:毎月2回(火曜日) 時間:①12:45～14:15、②14:30～16:00 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:健康体操		
16	よこはまシニアボランティア登録研修会	平成28年～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」と介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすることを目的とする。	1:高齢者	5	実施時期:年1回程度 内容:よこはまシニアボランティアポイント事業登録研修会と地域の高齢者福祉施設を招き事業所紹介(ボランティア募集について)を実施。		
17	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会	平成28年度～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	様々な主体による多様な支援の活動報告や介護予防・生活支援の充実した地域づくりのための情報提供、ケアマネジャー同士の関係構築、介護保険制度や社会福祉資源の情報共有等を行う。	6:事業者	5	実施時期:年2回程度 内容:インフォーマルサービスや横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業等の情報提供。ケアマネジャー向け研修会の開催。民生委員の研修会も同時開催。		
18	知っ得講座	平成30年度～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護保険申請やケアマネジャーの役割、福祉用具や住宅改修等についての講座を実施し、住み慣れた地域でより安心した老後を迎えることができるような情報を周知していく。	1:高齢者	5	実施時期:年2回程度 内容:包括支援センター職員による介護保険制度の周知及び福祉用具の事業所による住宅改修、成年後見制度等の説明。		
19	終活講座	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	終活講座を行うことで、安心して生活ができるような情報を発信していく。	1:高齢者	5	実施時期:年2回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:生前整理・相続等		
20	携帯電話講座	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民を対象にスマートフォンの基本的な使い方(カメラやメール等)について講座を行い、子どもや孫世代とのコミュニケーションツールとなるように情報発信していく。	1:高齢者	5	実施時:年2回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:スマートフォンの使い方講座等		
21	森のカフェこすずめ	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	小雀町の現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う。	5:地域	1	実施日:原則第3金曜日 時間:14時～16時 場所:小雀町内会館 内容:どなたでも参加できる地域向けのカフェ		
22	お医者さんとの上手な話し方	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病院との関わり(医師等)を含め、地域の方々に周知していきたい。	5:地域	1	実施時期:年1回 内容:お医者さん等と上手に話をするコツについての講義。		
23	エンディングノート	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	エンディングノートの概要を理解し、実際に書いてみることで、自身の将来への備えを考えてもらうきっかけとする。(戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催)	1:高齢者	5	日程:年1回 時間:13時30分～15時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催を予定		
24	生活支援体制整備事業協議体	平成28年度～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	①多様な主体間の情報共有、連携体制の構築 ②地域情報や課題の把握 ③地域づくりにおける意識の統一 ④新たなサービス創出	1:高齢者	5	実施時期:年2回程度 内容:地域の強みや地域住民が関心を持つことができ、集まりやすいテーマ等のグループワーク。サービス創出に向けた意見交換。		